

初級・ジュニアリーダー (理論編)

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
子ども会とは	子ども会のねらい	近所の仲間と子ども会 遊びと子ども会	子ども達が集まって、皆で相談しながら、異年齢集団の活動を、自分達の力で進めていき、会員一人ひとりが立派な大人(社会人)となるための知識を習得し、子どもの成長に果たす役割を認識させる。				
	子ども会のしくみ	子ども集団と育成者指導者	いろいろな活動が自分達の手でうまく進められるように子ども会組織の基本的な事項を学ばせる。(会の名称・会の目標・会員の対象・会の規約・会の役割・会の運営)及び育成者・指導者とのつながりを認識させる。				
	子ども会活動内容	子ども会のねらいと活動内容 日常活動 行事活動	子ども会活動にはどのようなものがあるかについて理解させる。 日常活動・行事活動について理解させる。 社会活動、野外活動、スポーツ活動、レク活動、文化・芸能活動、科学活動、生産活動				
リーダーの役割	班活動・係活動	班単位の活動	班長は、班の自主的な活動の中心となって班員をまとめ、活動の推進役であることを認識させる。 班活動には、班独自の活動と子ども会行事を達成する活動があり、その役割について理解させる。				
		係・クラブ活動	係活動(委員会活動)は子ども会の会員が仕事を分担し、自主的に活動を進めるものであり、その役割について認識させる。				
	リーダーの役割分担	ジュニアリーダーの役割	地域の子どもの仲間を援助し、子ども会活動がスムーズに展開するように会員のよい相談相手となるための役割を理解させる。				

初級・ジュニアリーダー（実技編）

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
話し合いの進め方	例会の持ち方	定例会の準備と進め方 話し合いのしくみ	案内の仕方、会員や指導者、育成部の人たちなどに連絡する技法を身につけさせる。 話し合いの進め方について理解させる。				
楽しい遊び	簡単なレクリエーション	仲間づくり	ルールを守る姿勢を理解させる。 （自己紹介ゲーム、命令ゲーム、鼻鼻ゲーム）				
	ゲームソング	仲間づくり	ルールを守る姿勢を理解させる。会の運営に欠かすことの出来ない雰囲気づくりの方法を理解させる。				
	軽スポーツ	体力づくり	ルールを守る姿勢を理解させる。子ども会における軽スポーツとして、どのようなものがあげられるか、いくつかの種目について正しいルールを理解させる。				
記録のとり方	班ノートのとり方	記録の必要性 記録の取り方まとめ方	記録の必要性と、継続し記録することを理解させる。 記録の原則（5W1H）を理解し、かつ、記録は話を要約することについて理解させる。				
安全な活動	危険の発見	危険予知トレーニング 初歩的な安全対策	班別で教材をもって学ばせる。楽しい活動の裏には常に危険が隠れていることについて理解させる。 命の大切さを学ばせる。（例題として、遊び場にある危険運動を伴うときの服装、疲労と休息、遊びとふざけのちがい）等について理解させる。				

中級・ジュニアリーダー (理論編)

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
子ども会の運営	組織と運営	子ども会の組織 運営の基本とは	好ましい組織とは、また、その形態について理解させる。 (子ども会と育成会のつながりについて) 子ども会をうまく運営するには、優れた技術と方法が必要であり「子どもの子どもによる子どものための子ども会」にするための技法について理解させる。				
子ども会のプログラム	プログラムのたてかた	プログラムとは何か 望ましいプログラム 情報の収集と調査記録の活用	なぜプログラムが必要か、プログラムの種類、年間・月間プログラムについて理解させる。 魅力あるプログラムとは何かを理解させる。 プログラムを作るうえで、いかに情報の収集と実地調査が必要であるかを理解させる。				
リーダーの役割と任務	J・Lの役割	心構え、態度 集団指導者とは 育成・指導者との相互関係	育成・指導者と子どものパイプ役であることを理解させる 子ども会全体像を見通して、リーダーとしての指導性、助言能力を身につける。 J・Lは、自分達の立場を理解し、かつ、育成者・技術指導者との連絡技法を理解する。				
育成会と子ども会	育成会とのかかわり	育成者の理解 特技指導者とは	育成者は、地域に住む全ての大人の人々であること、子ども会のために精神的・物質的援助を協力してくれることを理解させる。 子ども会行事などでゲーム・歌唱指導・スポーツ・レクリエーション・郷土芸能等について、協力してくれる人たちであることを理解させる。				

中級・ジュニアリーダー（実技編）

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
会議の持ち方 と進め方	会議の仕方	総会・班長会議 実行委員会 班会議、係会議	話し合う議題によりいろいろな会議があることを理解させる。				
	司会の仕方	議題提案、協議 助言、まとめ などの仕方	司会者として会議の進行方法の実際を知り、誰でもできるようにする。				
	記録のとり方	会議名、日時、 会場、議題、参 加者数、内容、 反省点などの記 録	記録の大切さを認識させ、誰でもできるようにする。				
	会議の進め方 協議の仕方	議題を決めて模 擬協議をする 円卓式、パネル 式、六六討議	模擬会議を演習し、進め方を体験する。 議題によりいろいろな協議や話し合いのあることを理解させる。				
プログラムの 実践	立案の仕方	立案の手順 役割分担、協議 まとめ、成案	各種プログラムの立案手順を知り、自分たちの手で作れるようにする。				
	年間・月間プログラムの立案	前年度の反省 班の要望 ねらい、回数、 時期、予算	年間・月間プログラムの立案方法を演習を通して学ぶ。				
	行事プログラムの立案	事前準備 役割分担 当日の役割進行	行事プログラムの立案方法を演習を通して学ぶ。				

中級・ジュニアリーダー（実技編）

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
プログラムの実践	行事の反省	行事の見直し	プログラム展開後、見直し、反省と評価をし、それを記録に残し、次年度への資料として、活用することを理解させる。 (反省・評価・記録)				
広報紙の作り方	広報の仕方 壁新聞の作り方 パソコンの利用	広報の種類 編集の手順 子ども会壁新聞作りの演習 パソコンを使った広報	活動の様子を地域の人々に周知することの大切さを知り、子どもの手による広報活動ができるようにする。 (子ども会新聞・壁新聞・回覧板・ポスター) 編集の手順や5W1Hなど記事の書き方を知り、すぐに役立つようにする。 壁新聞作りを演習し、自分たちで子ども会壁新聞が発行できるようにする。 ホームページ等のネットワークを利用した情報の発信方法について学ぶとともに、実践してみる。				
レクリエーションの実際	レクリエーションのねらい レク・ゲームの指導法 活動の種類	レク・ゲームの意義 説明法と演出法と指導法 手芸と工作 ダンス 演劇 文学活動 音楽 自然探究及び野外活動 社交的行事 ゲーム スポーツ	ルールをまもる姿勢を理解させる。集団作りに果たす実技の役割について理解させる。 人々に伝える技術と理解させる技法について学ばせる。 レクリエーション活動を類型にしておきプログラムに適切な活動をもりこみ、変化を与え、調和のとれたものとするに役立つことを理解させる。				

中級・ジュニアリーダー（実技編）

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
レクリエーションの実際		キャンプ	キャンプ技術を習得させる				
記録と反省	話し合いの記録	記録のとり方	子ども会において活動展開するに伴い打合せや会議を行うことが多い。それぞれの会議で決まったことや活動記録を記録しておくことを理解させる。 話し合いの内容・話し合いの結果 (会議名、日時、会場、出席者数、役割、テーマ)				
	評価と反省	評価の視点とより良い活動とするために	活動が終了したら、目標への到達度を確認するための評価の仕方を学ばせると共に、次回の活動計画をよりよくするための反省の仕方を身につけさせる。				
子ども会活動と安全	安全な活動とは	K Y T (危険予知トレーニング) の理解	事故事例などを説明し、K Y T などを利用して安全能力 (危険予知、危険回避) について身につけさせる。 ブレinstoーミングの4原則で演習し理解させる。				
奉仕活動	ボランティア活動とは	ボランティアの意味 ボランティアの条件 ボランティアの種類	ボランティアとは、自発性で自分達の地域社会を少しでもよくすることで、あることを理解させる。 約束・規則・秘密・を守り、自己訓練と創意工夫をし、かつ、連帯性を大切にすることを理解させる。 子ども会の奉仕活動をする場合の領域を理解させるとともにし、実践活動を行う。				

上級・ジュニアリーダー（理論編）

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
集団活動とは	集団活動の進め方	<p>集団活動の意義</p> <p>集団の構造と機能</p> <p>グループワーク トレーニング</p>	<p>各種各様の集団をとおして自分の歩みの方向づけに助力を与えられ、集団に支えられて、不安と困難に耐える力、判断力、勇気、責任ある態度等の特性を備える事を理解させる。</p> <p>集団活動の大切さを理解させ、集団における指導者のあり方と役割、機能との関係について理解させる。</p> <p>仲間とともにグループを作ることにより人間同志の間に、あるつながりが生じた時新しい楽しみが生まれることを理解させる。</p>				
地域社会と子ども会	家庭と学校と地域社会	<p>子どもの生活領域</p> <p>家庭と子ども会</p> <p>学校と子ども会</p> <p>地域社会と子ども会</p>	<p>子どもの生活領域である家庭、学校、地域社会と子ども会の関係について理解させる。</p> <p>家庭における子ども会の役割について理解させる。</p> <p>学校における子ども会の役割について理解させる。</p> <p>地域社会の自然、文化、社会的条件と子ども会の役割について理解させる。</p>				
子ども会活動の安全確保	危険の予知と回避	<p>冒険への挑戦</p> <p>遊びと危険予知</p>	<p>事前調査、活動時の事故の誘因、事故の事後処置について理解させる。</p> <p>事事故例を通して、安全対策と危険予知の大切さを理解させる。</p>				

上級・ジュニアリーダー (理論編)

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
子どもの理解	子どもの理解	<p>子どもの成長と発達</p> <p>子どもの能力</p> <p>子どもと遊び</p>	<p>子どもの発達と成長の特徴を理解させる。</p> <p>子どもは常に秘められた能力や特性を持っている。それを異年齢集団活動の中で創造性や自主性をとおして自然に引き出し、自己認識させるためにはいかにしたらよいかについて学ばせる。</p> <p>子どもは仲間達とによる遊びや生活体験をとおして連帯性・協調性・責任感など色々な人間関係や生活の技術を学びます。人間としての成長にとって遊びがなぜ必要かを理解させる。</p>				
会議の指導助言の仕方	会議の運営方法	<p>会議の進め方と指導</p> <p>助言の仕方</p>	<p>会議の運営ルールにしたがって進められたか、質問は司会者をおしてさばいていたか、要約と結論は、など、会議の進め方について理解させる。</p> <p>話し合われている内容を要約し、組織の目標や行事の進め方について、側面からアドバイスするものであることを理解させる。</p>				
プログラムの種類とたて方	作成技法	<p>プログラムの種類</p> <p>プログラムのたてかた</p>	<p>楽しい子ども会は、プログラムにより達成されることについて理解させる。(年間・月間・行事プログラム)</p> <p>会員の希望を聞く、話し合う、立案する。この時いままでの評価・反省事項を参考とすることについて理解させる。(プログラム作成の演習)</p>				

上級・ジュニアリーダー（実技編）

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
指導・助言 評価の仕方	活動の評価	評価の方法	活動をとおして会員の目標への達成度がどのくらいだったか、どのように取り組んだかを総合的に評価し、その後の活動の中でいかに指導、助言したらよいかの技術を身につける。				
広報活動	広報の意義	広報活動の必要性	地域に自分達の活動を理解させるにはどのような広報手段があるか、また、自分達の活動を円滑にするための連絡紙を発行するにはどうしたらよいかを理解させる。				
	新聞の作り方	子ども会新聞 機関紙の発行	編集の手順や記事の書き方を体得しすぐ現場で広報紙を発行できる技術を習得させる。				
	報紙（新聞）作り	広報紙作りの演習	広報紙（子ども会新聞）作りを実習する。				
	パソコンの積極的 活用	インターネット の利用について	ホームページ等のパソコン利用による情報発信、情報の収集について、実習する。				
レクリエーション活動	レクリエーション の指導技法	キャンプ活動	キャンプ技術を指導できるようにする。				
		野外活動	野外活動を通して自然に親しみ、体力を養成するとともに自然の美しさ、厳しさを体験し、大自然を理解させる。				
		創作活動	グループ全員でつくり、演じることにより創造する心と集団作業の良さについて理解させる。				
		スポーツ活動	親しむスポーツとして、易しいルールでみんなでやれば楽しいものだということを理解させる。				
		文化活動	音楽、文化、演劇など自分に適した技法を演習して自分でやって良かったという雰囲気を理解させる。				

上級・ジュニアリーダー（実技編）

項	目	節	摘 要			備 考	
			留 意 点	学 習 方 法			
				講義	討議		演習
奉仕活動	豊かな人間性	社会参加	豊かな人間性を育てるためにいろいろな社会参加を通して体験（社会奉仕の心）させることにより、情緒性が養われることを理解させる。				
調査活動	調査の仕方	調査の方法と集計の仕方	調査の方法、調査の種類等を学ばせる。とともに実際に簡単な調査を実践し、基本的なデータの読み方を学ばせる				
子ども会活動と安全	安全活動の進め方	未然に事故を防ぐために	集合や点呼、安全歩行の仕方を知り自ら安全な行動がとれるようにする。 集合・整列・点呼・報告の仕方 安全歩行・隊形の取り方				
	救急法の習得	応急手当の心得	基本的な救急法を完全に演習をとおして身につけさせ、いつでも、どこでもとっさにできるようにさせる。				